

## 大豆の生育状況(8月2日現在)

地域名	生育ステージ		生育(作柄・品質)概況	問題点	備考
	本年	平年対比			
茨城県 (龍ヶ崎市)	タチナガハ 開花期	1日遅い	<p>龍ヶ崎における7月第1半旬～第5半旬の気象および大豆の生育概況は下記のとおりである。</p> <p><b>【気象】</b>                      ○気温:日平均気温は平年より-1.1℃とやや低く推移している。                      ○降水量:平年比48%とかなり少なく推移している。                      ○日照時間:平年比92%と平年並みである。詳しくは第1,2半旬に平年比183%,122%と多く,第3半旬以降は平年並から平年より少なく推移している。</p> <p>気象の推移は図2のとおりである。</p> <p><b>【生育】</b>                      生育ステージは「タチナガハ」で平年より1日遅く,「里のほほえみ」は前年より1日遅い。「納豆小粒」は平年並である。</p> <p>地上部の生育は,「タチナガハ」および「納豆小粒」で平年より主茎長が長く,茎が太いことから,地上部生体重はそれぞれ平年比132%,131%と重い。「里のほほえみ」は,全ての調査項目において前年を上回っている。</p> <p>すべての品種で地上部生体重が平年より上回った要因として,7月第1,2半旬の日照時間が多かったことが推察された。</p> <p>現在の生育状況は次ページ表1,図1のとおりである。</p>	特になし	<p>●1回目の中耕・培土を7月14日(第4本葉展開期)に子葉節まで,2回目を7月22日(第8本葉展開期)に初生葉節まで実施した。</p> <p>○紫斑病および莢害虫の発生に注意し,適期防除に努める。</p> <p>○開花期以降の水分不足は着莢数の減少につながるため,必要な場合は灌水を行う。</p> <p>○病害虫の発生予察については病害虫防除所のホームページを参照する。                      ( <a href="http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/">http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/</a> )</p>
	里のほほえみ 開花期				
	納豆小粒 第13本葉 展開期	平年並			

表1 大豆の生育状況(生育調査は7月26日(播種後37日)に実施。開花期は8月2日現在。)

品 種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ			地上部生体重		
	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	8月1日	±0 (8月1日)	+1 (7月31日)	<b>45.0</b>	181 (24.9)	132 (34.0)	<b>10.7</b>	123 (8.7)	100 (10.7)	<b>1.4</b>	28 (0.5)	78 (1.8)	<b>7.6</b>	131 (5.8)	112 (6.8)	<b>72.4</b>	284 (25.5)	132 (54.7)
里のほほえみ	8月2日	+1 (8月1日)	-	<b>45.4</b>	162 (28.1)	-	<b>9.6</b>	110 (8.7)	-	<b>0.9</b>	225 (0.4)	-	<b>9.1</b>	121 (7.5)	-	<b>65.7</b>	209 (31.4)	-
納豆小粒	-	- (8月8日)	- (8月6日)	<b>37.1</b>	159 (23.4)	117 (31.8)	<b>10.9</b>	119 (9.2)	99 (11.0)	<b>1.8</b>	222 (0.8)	72 (2.5)	<b>7.2</b>	144 (5.0)	113 (6.4)	<b>61.8</b>	364 (17.0)	131 (47.2)

【耕種概要】

- 圃場(来歴): 中粗粒灰色低地土(輪換畑, 転換2年目, 前作麦)
- 播種日: 6月19日, 栽植密度: 11.1株/m<sup>2</sup>(畦間60cm×株間15cm)1本立て, 施肥量: N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O: 0.3-1.2-1.2(kg/a)

【平年値および注意】

- ( )内は前年値または平年値。平年値は直近5か年分(平成22年~27年, 平成24年は天候不順により播種期が7日遅れたため除外)のデータ平均値。  
「里のほほえみ」は平成27年度から実施のため平年値のデータなし。
- 茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の中間で最も太い部分を測定。
- 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ。



図1 所内大豆の生育状況(7月26日撮影)

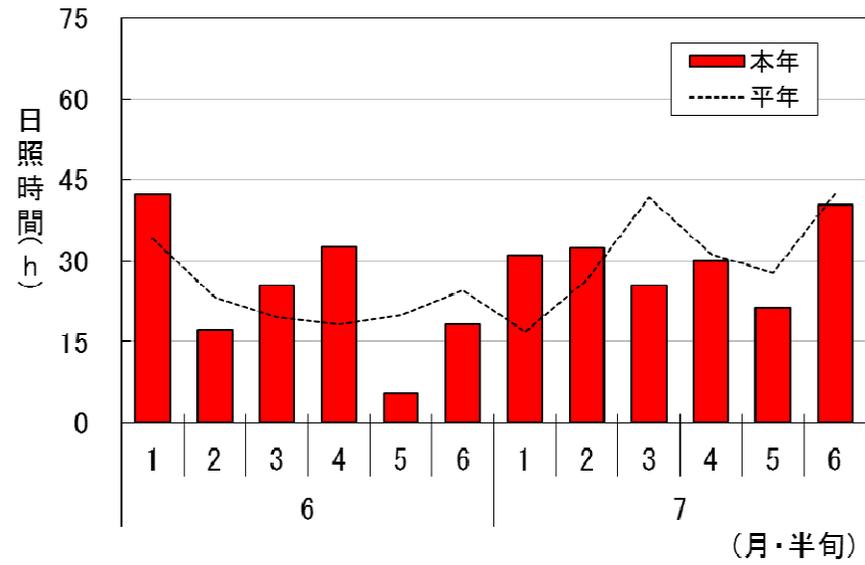
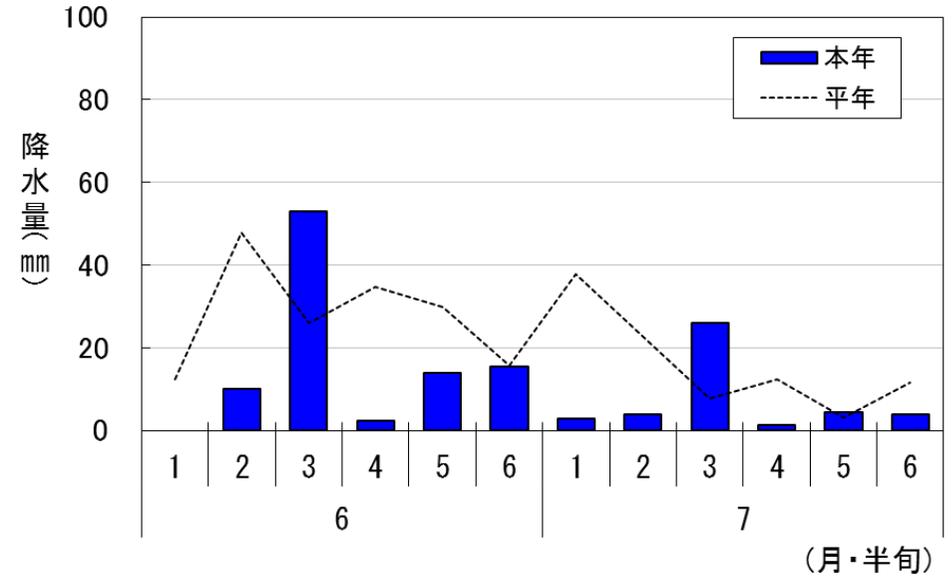
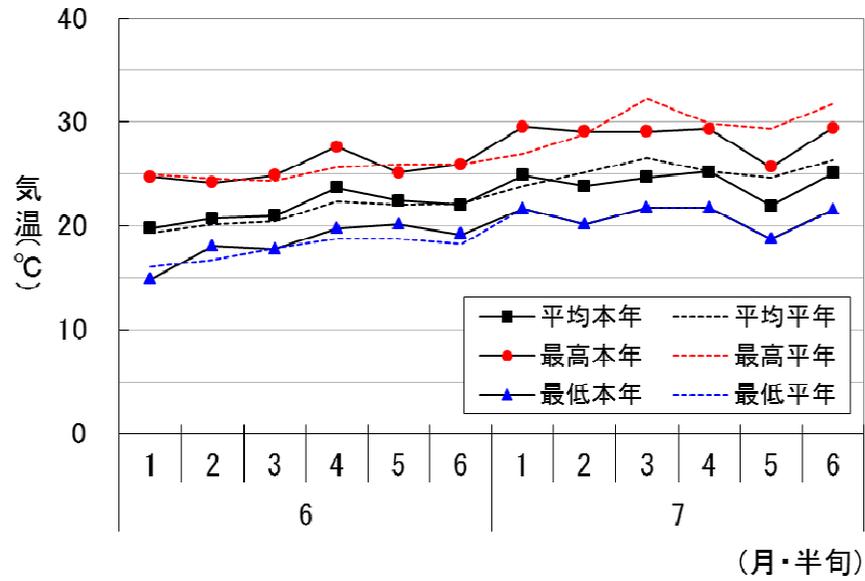


図2 平成28年度半旬別気象経過図  
 (龍ヶ崎アメダスデータ参照, 平年値は直近5ヶ年の平均値)